

舞鶴市議会 活動報告

- 宮津市議会主催の議員研修会への参加報告
(令和4年8月18日開催)

宮津市議会主催 議員研修会 実施日：令和4年8月18日

【講義テーマ】 「効果的な質問手段と政策形成への活かし方について」

【研修目的】 議員の一般質問における、より効果的な質問手段とは何か、そこから政策形成への活かし方とは何かの学びを目的とする。

【講師】 株式会社地方議会総合研究所 代表取締役 廣瀬 和彦 氏

【研修場所】 宮津市 みやづ歴史の館 文化ホール

【報告書作成】 眞下 隆史



舞鶴市議会から7名が参加

【講演内容】

(1) 質問・質疑とは、その範囲と対象は

- ◎ 質問は特定の議案とは関係なく当該団体の行政事務全般について、執行機関の見解・疑問点・自己の意見を述べられるが、質疑は議題となった案件についての疑問点を聞くのみであり、発言者は自己の意見を述べられない。
- ◎ 質問の範囲は、市の一般事務の範囲に限って行うことができ、都道府県、国に対することは意見書等で対応すべきである。

(2) 効果的な質問をするにあたって注意するチェックポイント

- ◎ 施策・事業の進捗状況のみを問う
- ◎ 多数の論点が混在しすぎ
- ◎ 質問議員の個別的・地域的な内容のみを問う
- ◎ 根拠や証拠の無い質問
- ◎ 議員・党の政治信条の表明に終始する
- ◎ 何を問いたいのかが分からない
- ◎ 先進地事例の紹介で当該自治体との比較が無い
- ◎ 住民の意見をそのまま引用
- ◎ 執行機関への過剰な感謝
- ◎ 毎回質問時間ギリギリまで行う
- ◎ 完璧な事前調整・批判だけ・逆に批判がない・重箱の隅をつつくような内容



舞鶴市議会もお世話になっている廣瀬先生

宮津市議会主催 議員研修会 実施日：令和4年8月18日

(3)効果的な一般質問手法

- ◎類似団体(人口・財政規模等)で同様事業の費用対効果や経費と具体的な比較。
- ◎善処する・検討するといった執行機関の答弁に対し後日におけるフォローアップ。
- ◎具体的な事業・施策の提言を行う、及び予算措置について具体的に提案。
- ◎会議録を検索し過去の執行機関の答弁を引き合いに出す。
- ◎議員として行政評価を取り入れながら問題点を指摘する。
- ◎基本構想・基本計画等の整合性を確認する。

(4)質問力向上に向け

- ◎議員本人の職歴等を活かした質問を考え、関心を最も有する分野を掘り下げ、選挙において掲げた公約について議員任期中に徹底的に実現に向け質問で取り上げる。

(5)質問の政策形成への活かし方

- ◎個人としての質問を議会としての政策形成へ活用するため、指摘事項を更に深堀できる所管事務調査を実施する。
- ◎一般質問の論点を、所管する委員会で追跡調査や振り返りを実施し、一度の個人の質問で終わらせない。
- ◎逆の発想から、委員会の所管事務調査から発見した課題を、委員会を代表し質問し提言を実施することは効果的。

【私の所感】 議員は、自分のための質問との認識があるのが現状であり、そこから脱出すべく今後取り組んでいく。

京都北部5市2町の議員が集結

